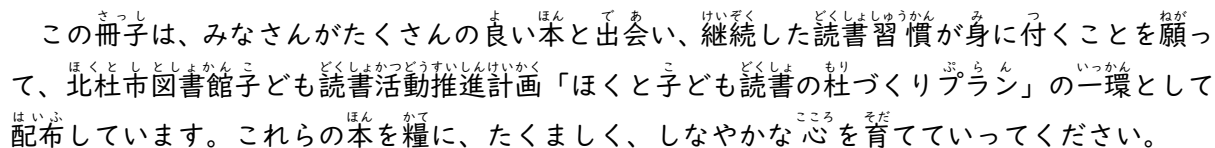


ほん よ たの はっけん
本を読む楽しさの発見



★このリストに載っている本は図書館で借りることができます★

ほくとしとしょかん
北杜市図書館

ほくとしがっこうとしょかん
北杜市学校図書館

“読書マラソン”とは、“生涯にわたって本を読み続けよう”という意味。みなさんの長い人生の中で、“読書マラソン”はまだ始まったばかり。一生を42.195kmの長いマラソンに例えると、人生80年としてみなさんは、小学1年生で3km、6年生で6km、中学生で7kmをちょっと過ぎたあたりかな。マラソンで言えばまだまだ始まったばかりということ。この時期は、体を温めて自分のリズムを作る大事なとき。いまのうちにしっかり心を温めておけば、おじいちゃんやおばあちゃんになるまで、ずっと本と仲良しでいられる、心の根っこ作りや生活のリズム作りが出来るのです。

「たくさん本と出会い、それらの本からいろいろな思いや考え、知識を吸収して大人になってもずっと本を大好きでいられる力を心にいっぱいためてほしい」そんな願いを込めて、北杜市の学校図書館司書と公共図書館司書が、2019年7月～2020年9月に出た本の中から、小・中学生のみなさんにおすすめの本を選びました。今年もたくさん読んでね。

★読書マラソン スタンプラリー★

4月23日の「子ども読書の日」が読書マラソンのスタート！自分のペースで読みすすめよう！！



1から順にスタートして、10がゴール。
読書マラソン2021のコースだよ。
完走めざしてがんばってね！！
5さつ読むと1まい、10さつ読むともう1まい、しおりがもらえるよ。

1 ●本のなまえ
読み終わった日 月 日

2 ●本のなまえ
読み終わった日 月 日

3 ●本のなまえ
読み終わった日 月 日

4 ●本のなまえ
読み終わった日 月 日

5 ●本のなまえ
読み終わった日 月 日

6 ●本のなまえ
読み終わった日 月 日

7 ●本のなまえ
読み終わった日 月 日

8 ●本のなまえ
読み終わった日 月 日

9 ●本のなまえ
読み終わった日 月 日

10 ●本のなまえ
読み終わった日 月 日

スタート!

ゴール!!

2まいめしおり

1まいめしおり

小学校低学年向き

つかまえた

たしま せいそう
田島 征三／さく
かみせいしゃ
偕成社

あついなつの日、川であそぶ！氷って力もち。ぼくのからだをぐぐーっておすよ。きらきらしたさかな、つかまえられるかな？わくわくどきどき、スリルまんてん！しぜんいっぱいのおえほん。

そのときがくるくる

すず きみえ／さく
くすはら 順子／え
ぶんけんしゅつばん
文研出版

ぼくには、どうしてもたべられないものがある。それはなすだ。「いまはきらいでも、おいしくおもえるときがくるものさ」って、おじいちゃんはいうけど、ほんとかなあ？

ライオンになるには

らいおん
エド・ヴィアー／さく
きたむら さとし／やく
びーえるしゅつばん
BL出版

やさしくて詩がすきなライオンのレオナルドは、アヒルのマリアンヌとなかよし。でも、なかまはライオンらしくつよくなれっていう。ライオンはライオンらしくってどういうこと？

かしたつもり×もらったつもり

かさい まり／さく きたむら ゆうか
しゅつばん
くもん出版

れんは、たいせつなきょうりゅうずかんをともだちのだいちに かしたつもりだったのに、だいちももらったものだとかんちがい！けんかしたふたりは、いったいどうなるの？

かなへび

たけなか せん いしもり よしひこ
竹中 踐／ぶん 石森 愛彦／え
ぶんくいかんしゃてん
福音館書店

かなへびは、とかげのなかまで、にほんじゅうのはらにいるよ。とてもながいしっぽがとくちょうなんだ。はる・なつ・あき・ふゆ、それぞれのきせつをたくましくいきぬく、かなへびのようすをみてみよう。

いし

なかがわ
中川 ひろたか／さく
たかははけ な お ありすかん
高畠 那生／え アリス館

いしはどこからきて、どこへいくの？いしでできているものってなに？いしのふしぎをユーモアたっぷりに、わかりやすい絵でおしえてくれる。このほんをよんだら、みのまわりのいしのことが、きになってしかたなくなるよ。

しらゆきちりか ちっちゃいな

くん くみこ／さく おおしま たえこ
ひーえいちひーけんきゅうじょ
薫 くみこ／さく 大島 妙子／え
PHP研究所

1ねんせいのちりかは、ちょっかいばかりだしてくる、うしろのせきのすずきくんのことがにがて。らんぼうで、こえもからだもおおきくて、まるでライオンみたい。そう思ったら、ライオンのかおにしかみえなくなってきた。でもあるとき…。

ねこはるすばん

まちだ なおこ
町田 尚子／さく
しゅつばん
ほるぶ出版

にんげんが にかけていたので、ねこはおるすばん…。とおもっていたら、たんすのおくから ねこのまちへとうちゃく！そこにはヘアーサロン、えいがかん、かいてんすしまでがあった。ふしぎな、ねこのまちをのぞいてみよう。

虫ガール

ほんとうにあったおはなし

そふいあ・すへんさー まーがれっと まくなまら
ソフィア・スパンサー／ぶん マーガレット・マクマラ／ぶん
けら すこえっと ゆみこ
クラスコエット／え 福本 友美子／やく
いわさきしゅてん
岩崎書店

2才半から むしに むちゅうだったソフィアは、1ねんせいになると「むしなんてきもちわるい」と、からかわれるように。そんなとき、せかいのむしはかせからメールがといた！すきをだいにした「虫ガール」のものがたり。

ふゆとみずのまほう こおり

かたひら たかし
片平 孝／しゃしん・ぶん
ほふらしゃ
ポプラ社

さむいふゆのあさ、みずがすがたをかえた。いろいろなかたちに すがたをかえたこおりが、とてもきれい。こおりはしぜんからのおくりもの。おきにいりのこおりをさがしてみよう！

小学校中学年向き

かみさまのベビーシッター

ひろしま れいこ きむら
廣嶋 玲子／作 木村 いこ／絵
理論社

商店街の福引で「かみさまのたまご」が当たった幸介。これで願いごとがかなうと喜んだが、たまごから生まれた神様は、あまえんぼうでお世話が大変。さて、幸介の願いはかなうのか…。

りんごだんだん

おがわ ただひろ
小川 忠博／写真と文
あすなろ書房

346日間、ひとつのりんごを見つめ続けてわかったこと。それは“すべてのいきものは土にかえる”ということ。最後まで目がはなせない、ふしぎな写真絵本。

きみの声がききたくて

オーウェン・コルファー／作
P.J.リンチ／絵 よこやま かずえ
横山 和江／訳
ぶんげんしゅつぱん
文研出版

つらいできごとから心が傷つき、声をなくしてしまった少年パトリックと子犬のオズ。おたがいに“きみの声がききたいんだよ”という同じ気持ちでよりそうことで少しずつ前を向いて歩き出す。

オオカミ王ロボ

あべ弘士のシートン動物記①

E・T・シートン／原作 あべ 弘士／文・絵
学研プラス

強くて大きなオオカミのリーダー、ロボ。人間たちがしかけたわなを、次々と見やぶるかしこいロボだが、ひとつだけ弱点があった。それは…。

みずをくむプリンセス

スザン・ヴァーデ／文 ピーター・H・レイルス／絵
さくま ゆみこ／訳 さ・え・ら書房

日本では水道のじゃぐちをひねると、きれいな水を使うことができる。アフリカのひとりの女の子の願いは、きれいで安全な水を使えるようになること。水について考えてみよう。

あるヘラジカの物語

ほしの みちお げんあん
星野 道夫／原案
すずき まもる／文・絵
あすなろ書房

アラスカの大地で2頭のヘラジカの決闘が始まる。ヘラジカは角がからまったまま力つきる。そこへ次々とやってきて残がいを食べる動物たち。たたかひの迫力が画面いっぱい広がる絵本。

まほうのおまめ だいずのたび

まつもと はるの
松本 春野／文・絵
たちみ よしこ
辰巳 芳子／監修 文藝春秋

日本人になじみの深い、まほうのおまめってなーんだ？答えはだいず。食べるとき、いろんなものに変身するよ。何に変身するのかな？だいずといっしょに旅してみよう。

さがす

ながくら ひろみ
長倉 洋海／著
ありすかん
アリス館

写真家の長倉洋海さんが世界をめぐり、各地で暮らす人々や美しい風景を写真で紹介。その中で「どうして自分はここにいるのか」、「生きる意味とは」という答えをさがしていく。

ちいさなしまのだいもんだい

スリティ・プラーガム・ホルズ／文 ロバート・スターリッガ／絵
なかがわ ちひろ／訳
みつむらきよういくとくしよ
光村教育図書

いろいろな動物たちが助け合い、仲良く暮らす村があった。ある日、小さな島に住むガチョウが、「われわれだけで暮らそう！」と橋をこわしてしまう。他の動物たちとの交流をやめた暮らしは、楽しくて幸せなのかな？

わたしたちの家が火事です

ちきゅう すく
地球を救おうとよびかけるグレッタ・トゥーンベリ
ジャネット・ウィンター／文・絵
ふくもと ゆみこ
福本 友美子／訳 鈴木出版

地球を救おうと、たった一人で世界に向けて声を上げたグレッタ。「自分の家が火事だったら、することをしてください。だって本当に火事なんですから！」さあ、あなたは地球の未来のために何をする？

小学校高学年向き

魔女ラグになれた夏

夢内 明子／著
PHP 研究所

三姉妹の末っ子で自己主張が苦手な岬。あるとき、幼なじみの要の言葉が心につきささり、引っ込み思案だった岬に変化が。さあ、心にひっかかっていた自分の気持ちを伝えに行こう。

しろ

芥川 龍之介／原作
田中 伸介／絵 みらいパブリッシング

“あのとき勇気をもって助けていれば…”。罪悪感を抱えた犬のしろは、心だけではなく体まで真っ黒に。飼い主にも見放され町をさまようしろは、自分の心を取りもどせるのか。

よこいしょういちさん

かめやま えいこ／文・絵
ゆいぽおと

太平洋戦争が終わったことも知らずに、グアム島で28年間も過酷な潜伏生活をした元日本兵の横井庄一さん。その生涯と平和への想いを切り絵と文章で伝える絵本。

命のものさし

動物の命・人間の命・わたしの命
今西 乃子／著 浜田 一男／写真
合同出版

人間から嫌われ駆除される野良犬。人間が食べるために殺される牛や豚。人間に愛され大切にされる動物園のゾウやキリン。命の重さは本当にみんな一緒？「命とは何か」動物たちから学ぶ一冊。

つれてこられたただけなのに

外来生物の言い分をきく

小宮 輝之／監修 有沢 重雄／構成・文
今井 桂三 むらもと ちひろ他／絵 偕成社

悪いものだと思われがちな外来生物は、人間の都合によって勝手につれてこられた生き物たちだ。彼らの言い分にも耳を傾けてみよう。生き物を知ること、日本の生態系の問題が見えてくる！

百年後を生きる子どもたちへ

「帰れないふるさと」の記憶

豊田 直巳／写真・文
農山漁村文化協会

東日本大震災による原発の放射能漏れ事故で、突然ふるさとを追われ、10年経った今でも帰れない人々。ふるさとへの想い、いつ帰れるかもわからない子どもたちに向けた願いや取り組みを写真で伝える。

県知事は小学生？

濱野 京子／作 橋 はしこ／絵
PHP 研究所

事故の衝撃で、小学6年生の尊憲の体の中に県知事の魂が入ってきた！それからというものの眠りから目覚めるたびに、二人の人格が入れ替わる奇妙な生活が始まった。県政は？学校生活は？いったいどうなってしまうのか！？

りゅうきゅう

琉球という国があった

上里 隆史／文 富山 義則／写真
一ノ関 圭／絵 福音館書店

かつて沖縄は「琉球」という日本とは別の国であり、中国（明）との貿易では、他国に比べて優遇されていた。それはなぜなのか？時代の流れを追いながら、琉球の謎に迫る！！

戦場の秘密図書館

シリアに残された希望

マイク・トムソン／著 小国 綾子／編訳
文溪堂

戦争で多くを奪われ続ける中、食料、水、医療以外に何が必要だろうか？ある日、人々は「頭や心だって栄養が必要なのだ」と気付く。そして本の救出とその本が読める場所、図書館作りが始まった。

バウムクーヘンとヒロシマ

ドイツ人捕虜ユーハイムの物語

巢山 ひろみ／著 銀杏 早苗／絵
くもん出版

日本で初めてバウムクーヘンを焼いたのは、ドイツ人捕虜カール・ユーハイム。そして、販売された場所は後に原爆ドームとよばれる広島市の物産陳列館だった。6年生の颯太たちがピースキャンプで知ったユーハイムの物語。

中学生向き

スイマー

高田 由紀子／著 結布／絵
ポプラ社

佐渡に引っ越した六年生の航は、そこで水泳に打ち込む同い年の3人と出会う。3人は航を水泳に誘うが、東京で水泳をやめた航が、再び泳ぎだすことはあるのか。そしてその先に見える景色とは…。

キリン解剖記

郡司 芽久／著
ナツメ社

子どもの頃から好きだったキリン。キリンへの疑問を調べているうちに、学ぶ喜びを体得し、第一線の研究者となった少女の成長記。「好き」を仕事につなげたいあなたにおすすめ。

親方と神様

伊集院 静／著
あすなろ書房

12歳の少年浩太は、鍛冶職人である六郎の所へ行き、「鍛冶職人になりたいから、仕事を見てみたい」と頼む。浩太は、仕事一筋に生きてきた六郎から、その後の人生を切り拓く大切なことを学んでいく。

秘密のノート

ジョー・コットリル／作 杉田 七重／訳
小学館

太っていて容姿に自信がないジェリーは、からかわれてもいつもギャグで笑い飛ばしていた。一方その裏で本当の気持ちを吐き出すため、秘密のノートに詩をしたためていた。そんなジェリーが、ある人物との出会いで変化していく。

なぜ僕らは働くのか

君が幸せになるために考えてほしい大切なこと
池上 彰／監修 学研プラス

仕事って何？どう働き、どう生きるか？幸せに働くって？などのテーマにそって、池上さんが広い視野からアドバイス。自分の人生を自分で創るため、今君たちに伝えたいこととは。

虹いろ図書館のへびおとこ

櫻井 とりお／著
河出書房新社

転校先の小学校でいじめにあい、学校に通えなくなった火村ほのか。町をさまよい行き着いたのは地元の図書館だった。本や人との出会いが、ほのかの人生を虹いろに変える。温かさや切なさが押し寄せる物語。

窓

小手鞠 るい／作
小学館

中学2年生の窓香の元に、亡き母からのノートが届く。そこには窓香への想いと、戦争の悲惨さが綴られていた。ひとりの女性である母の生き方を知ることで変わっていく、窓香の成長物語。

跳べ、暁！

藤岡 陽子／著
ポプラ社

バスケットボールをする人もしない人も、読んでいくうちに自分も頭の中でプレーしていることに気付く。様々な事情を抱えている部員たちだったが、お互いを理解し助け合う中で、チームワークの大切さに気付いていく。

ワタシゴト 14歳のひろしま

中澤 晶子／作 ささめや ゆき／え
汐文社

戦争や原爆の体験を継承していくことは、未来の平和にきつとつながる。広島原爆資料館を訪れた中学生たちが繰り広げる5つの物語。心が痛み、揺れるその先に本当の答えが待っている。

アーニャは、きっと来る

マイケル・モーパール／作 佐藤 見果夢／訳
評論社

羊飼いの少年ジョーはナチスドイツからユダヤ人の子どもたちを守るため、村人たちと協力して逃亡計画を進めていく。フランスの雄大な山々を背景に繰り広げられる、勇気と希望を描いた物語。



中学生向き こんな本もおすすめ

『12歳の少女が見つけたお金のしくみ』
小学6年生がやさしく解き明かした経済学の基本

泉 美智子／著 水元 さきの／漫画
宝島社

『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』

10代のどうしてもよくない悩みに
作家が言葉で向き合ってみた

日本ペンクラブ／編 ポプラ社

『てのひらに未来』

工藤 純子／作
酒井 以^{さね}／画
くもん出版

『赤毛証明』

光丘 真理／作
くもん出版

『青春ノ帝国』

石川 宏千花／著
あすなろ書房

『10代から身につけたいギリギリな自分を助ける方法』

井上 祐紀／著
KADOKAWA

『捨てられる食べものたち』

食品ロス問題がわかる本

井出 留美／著 matsu／絵
旬報社

『イズナくんは今日も、』

櫻 いいよ／著
酒井 以／イラスト
PHP 研究所

『みかん、好き？』

魚住 直子／著
講談社

『グレタのねがい』
地球をまもり未来に生きる

ヴァレンティナ・キャメリニ／著
杉田 七重／訳
西村書店





発行日：2021年4月23日
編集・発行：北杜市図書館・北杜市学校図書館